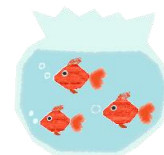




令和3年(2021年)第33週 2021年8月16日(月)~2021年8月22日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●流行性耳下腺炎

ムンプスウイルスによる感染症で、小児や学童期に多い病気です。「おたふくかぜ」や「ムンプス」とも呼ばれています。感染力は比較的強く、通常は1~2週間で軽快しますが、髄膜炎や難聴などの合併症を起こすことがあります。2015年には世界121カ国でMMRワクチン(麻しん・風しん・おたふくかぜの混合ワクチン)などの定期接種が行われるようになり、ほとんどの国で2回接種が行われていて、それにもない世界的におたふくかぜの発生件数は激減しています。日本では、現在MRワクチン(麻しん・風しん混合ワクチン)が定期接種となっており、おたふくかぜワクチンは任意の予防接種となっていますが、熊本市でも2018年以降感染者数が減少しています。

◆どんな病気？

- ・症状……唾液腺(耳下腺、顎下腺、舌下腺)の腫れ・痛み、発熱などが1~2週間続きます。
- ・潜伏期間…2~3週間。発症数日前から感染力があります。
- ・感染経路…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、ドアノブや手すりなどを介する接触感染があります。感染しても症状の出ない場合(不顕性感染)も多いと言われています。
- ・流行期……毎年、地域的な流行がみられ、3~4年周期で増減を繰り返しています。

◆かかったらどうすればいいの？

- ・特別な治療法はありませんので、対症療法が中心になります。
 - ・自然に治ることが多いのですが、合併症として無菌性髄膜炎を起こすことがあります。
- また、思春期以降の男性の約20%で睾丸炎がみられ、精子形成障害を起こすこともあります。

◆予防法は？

- ・手洗い、咳エチケットが基本です。症状のある人との密接な接触は避けましょう。
- ・ワクチン(予防接種)を打つことにより効果的な予防ができますが、任意の予防接種となっています。副反応として、接種後2週間前後に軽い耳下腺の腫れや微熱が出ることがあります。



期 間		2021年 32週		2021年 33週	
		8/9~8/15		8/16~8/22(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	2	0.13	10	0.63
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	2	0.13	1	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	1	0.06	4	0.25
感染性胃腸炎	➡	15	0.94	29	1.81
水痘(みずぼうそう)	➡	2	0.13	4	0.25
手足口病	警報レベル!! ➡	75	4.69	92	5.75
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	4	0.25	11	0.69
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	3	0.19
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	2	0.13	3	0.19
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	3	0.60	1	0.20
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00